

令和2年6月19日

議会議長 中野 博様

文教厚生委員会

委員長 長澤 務

閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和2年4月23日（木）午前9時00分
- 2 委員の出席状況 委員全員出席 議長出席
- 3 調査事項

（1）湯～トピアかんなみの現状について（現地視察含む）

平成14年にオープンした湯～トピアかんなみは、平成22年より指定管理者制度へ移行し、令和2年4月からは3期目の指定管理が開始されている。民間ノウハウを活用することで住民サービスの向上と経費の削減が図られており、心身ともに健康で豊かな地域社会の拠点を運営理念とし、様々な取り組みを行っているとのことであった。利用者の満足度調査の結果も高い水準であり、ニーズに応じた運用がなされている。

一方で、施設については老朽化が進んでおり、今後も維持管理にかかるコストの発生が継続的に見込まれるため、中長期的な計画を立て施設の長寿命化を図られたい。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため現地視察は中止とした。

(2) 待機児童解消対策について

令和2年3月に、第2期の函南町子ども・子育て支援事業計画が策定され、計画に基づく教育、保育の見込み等の概要、待機児童解消のための民設民営の保育園の整備事業等について説明がされた。

待機児童解消のための函南町保育園整備事業については、事業計画に基づいた待機児童の解消対策を目的としており、定員60人の保育園について令和4年4月からの開園を目標とし、事業を進めるとのことであった。事業者が参加してくれるよう、募集要項等の精査を行い、予定通りの開園に繋げられたい。

また、今後の待機児童の解消に向けては、見込みの数値だけでなく、潜在的な保育の需要を想定した対策に努められたい。

(3) 小・中学校におけるICT教育の推進について

令和元年に国から打ち出されたGIGAスクール構想では、校内通信ネットワーク整備と児童・生徒一人一台のコンピュータ端末の整備を進めることになっている。コンピュータ端末を用いての学習活動が行える環境整備は当初、令和4年度までに段階的に行う方針が示されていたが、新型コロナウイルスによる臨時休業を受け、環境整備の計画が令和2年度に前倒しで行われることとなった。町では、一人一台端末の整備を計画的に行っているが、全国一律のICT環境整備に足並みを揃えていくよう、周辺市町と情報交換をしながら検討を行っているとのことであった。

コンピュータ端末を用いた学習活動は、従来とは全く違った授業展開となるため、教員側の研修、端末の管理、授業での支援等、新たな課題が予想される。教育委員会においては、児童・生徒がICTを最大限活用できる環境づくりに努められたい。